

# JAXAロケット燃焼試験中に生じた燃焼異常による爆発について

資料 1

令和6年12月

- 11月26日（火）午前8時30分、JAXAの種子島宇宙センター固体ロケット試験場（鹿児島県）において、イプシロンSロケットに用いる第2段モータの再地上燃焼試験を実施。
- 試験開始約49秒後、第2段モータが爆発。
- JAXAにおいて、同日に原因調査チームを立ち上げ、原因調査を行うとともに、対応策を検討中。

## イプシロンSロケット開発の概要

### <開発目標>

- 高性能化、高信頼性、低コスト化を追求。
- 打上げ能力向上を目的に、推力増・推進薬量増およびモータケースの軽量化。

### 第3段モータ

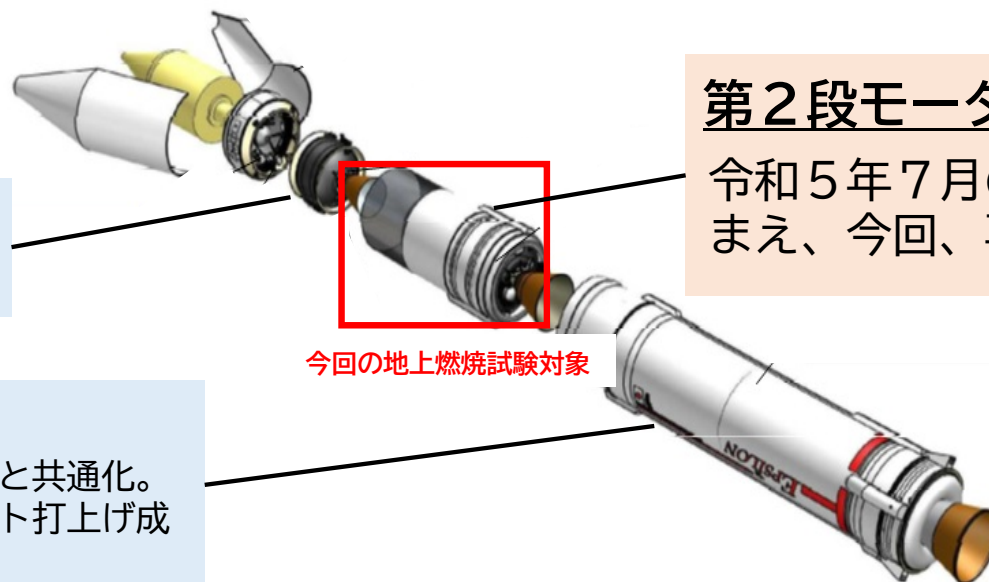
地上燃焼試験完了（令和5年6月）。

### 第1段モータ

H3ロケットの固体ブースタ（SRB-3）と共通化。  
第1段モータ地上燃焼試験、H3ロケット打上げ成功に伴い、開発終了。

### 第2段モータ

令和5年7月の地上燃焼試験爆発を踏まえ、今回、再地上燃焼試験を実施。



今回の地上燃焼試験対象

# イプシロンSロケット第2段モータ再燃焼試験中に生じた 燃焼異常による爆発に係る原因調査について

令和6年12月

## ■被害状況

- 人的被害および第三者物的損害はなし。  
(※) 燃焼試験時には予め立入り規制区域（半径580m）を設定。
- スタンド設備の損傷、周辺設備の破損等を確認。

## ■当面の調査等

- 試験データの詳細評価、回収破片による事象把握、設計・製造・検査データの確認等を行う。
- 前回の爆発原因とされた点火装置の溶融については、断熱材による対策を実施。
  - ➔ 今回、回収された装置は、外観としては、溶融は認められなかった。
- 今後、燃焼圧力が予測値と乖離した原因、燃焼異常に至った原因を中心に、あらゆる可能性を考慮して原因調査を実施。

## ■その他

- 12月5日、JAXAは原因調査チーム第一回会合を開催。終了後、調査の現状について記者説明会を実施。



燃焼試験前の様子



爆発後の様子